産地生産基盤パワーアップ事業
都道府県事業実施状況報告書兼評価報告書（収益性向上対策）

都道府県名　島根県

Ⅰ　産地パワーアップ計画（収益性向上タイプ）

1　成果目標

（２）販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状 年度	現状 面積	単位	現状 生産量又は出荷量	単位	現状 価格(販売単価)	単位	現状 生産コスト	単位	目標 年度	目標 面積	単位	目標 生産量又は出荷量	単位	目標 価格(販売単価)	単位	目標 生産コスト	単位	実績 年度	実績 面積	単位	実績 生産量又は出荷量	単位	実績 価格(販売単価)	単位	実績 生産コスト	単位	スマート農業推進枠 年度	スマート農業推進枠 導入・定着の取組の実施内容	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 事業実施前年度	単位	地域(県又は国を含む)の価格(販売単価) 目標年度	単位	補正係数	価格補正後の実績	事後評価の検証方法(※定量的な検証ができること。)	達成率(%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考
松江地域農業再生協議会	2	古曽志（カンドーファーム（株））	土地利用型作物（稲）	水田精密管理による増収増益生産体制の確立を図るため、以下の取り組みを実施する。 ①GPSトラクター、GPSレベラーにより圃場を均平化することで水利条件の均一化を図る。 ②可変施肥田植機により、圃場毎に設計された施肥基準に従って側条施肥を実行することで圃場内、圃場間の成育差を小さくする。 ③収量コンバインにより、圃場毎の収量量を収穫作業中に記録し、既存の生産管理システムで管理し、圃場毎の収穫量の分析を行う。 ④水田除草機により、移植後30日後の中期除草を行うことで農薬使用削減と土中環境改善を図り、生育環境の改善を図る。	販売額の10%以上の増加	R2	99,633円/10a	37.9	ha	440	kg/10a	226	円/kg	－	円	R5	110,341円/10a	36.5	ha	488	kg/10a	226	円/kg	－	円	R5	69,668円/10a	36.1	ha	320	kg/10a	218	円/kg				14,529	円/60kg	15,307	円/60kg	0.949	66,202円/10a	①現状値：R2年度　米の販売実績（カンドーファーム決算書） ②目標値：R5年度　米の販売見込額 ③実績値：R5年度　米の販売実績（カンドーファーム決算書） ④達成率 (③−①)／(②−①)×100	-312.3	単位面積当たり販売額は、現状を大きく下回り、成果目標は未達成となった。 主な要因としては、 ・高温障害及びカメムシの大量発生により、乳白米・未熟粒が増加し、規格外品が増加したこと ・硫黄被覆の一発肥料を使用したが、高温により肥効が前倒しとなり穂肥が効かなかったこと 上記により、単収が大幅に減少したこと。 また、上記により等級が下がったことで販売単価が下落したことがあげられる。 今後は、成果目標達成に向けて以下の取組を推進していけるよう、必要な助言・指導を行っていく。 ・高温耐性品種である「きぬむすめ」「つや姫」「つきあかり」への転換。 ・カメムシ防除は、ドローンによる防除を徹底。 ・肥料は、一発肥料の肥効期間が長く収穫直前まで肥効が続くものへの転換。	単位面積当たりの販売額の成果目標は未達成となった。 主な要因は ・高温障害やカメムシの発生による被害で規格外品が増加 ・基肥一発型肥料の溶解時期が高温により早くなり、適期に養分を吸収出来なかったことにより収量が減少 ・被害粒の増加により等級が下がったことで販売単価が下落 今後は、成果目標達成に向けて以下の取組を関係機関と推進し、指導を行う。 ・高温耐性品種への転換 「コシヒカリ」から「きぬむすめ」「つや姫」等への転換 ・ドローン等を活用したカメムシ防除の徹底 ・肥料は基肥一発肥料に加えて必要に応じて追肥実施の助言。	